

## 育児休業に関する体験記4

20代 55日間取得

① 家事 ・ 育児 につ いて	<p>1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか 出産前の妻との話し合いでは、出産直後の1ヶ月は体調や精神的負担があると考えて、家事の立ち仕事や夜泣きへの対応は主に私がするという話でしたが、実際にやつてみておむつ替えのやり方やミルクの作り方など一緒にやっていくうちに、交互に家事育児をするようになり結果的に分担は半々で沐浴は私がやっていました。</p> <p>2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について 子どもをお風呂に入れることや夕飯後の皿洗いを主に担当していて、自分ができる家事育児を積極的に行っています。子どもをあやしたりミルクをつくったりおむつを替えたりはその時の状況で臨機応変に対応しています。</p> <p>(妻 記載欄) 休業取得者の家事・育児の参画の状況について 夫が育休を取得していた期間は、料理以外の家事育児は折半していました。夫の職場復帰後は、平日の主な家事育児は私が行っており、休日は育休中とほぼ同様の分担です。平日は夫が出社前と帰宅後にミルクやおむつ替え、子どものお風呂などを進んで行っているため、日々の負担が軽くなり、とても助かっています。また、互いに前向きに育児に取り組んでいるからこそ、育児の悩みを二人で共有でき、私や子供の心の安定に繋がっています。</p>
② 仕事 につ いて	<p>1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか 休業前から上司や同僚に気遣っていただき、当時の仕事の状況もあり問題なく引継ぎし、休業に入れました。</p> <p>2. 評価・反省 特殊な状況だったのもあり、なにごともなく休業に入れました。</p>

<p>③ 自由 記述 (400 字程度)</p>	<p>(取得者 記載欄) (例:育児休業取得の経緯、育休を終えての所感、周囲の反応)</p> <p>私の今の環境では両親に子どものお世話を協力してもらうことは難しく、そうなると妻の家事育児の負担がかなり重くなってしまうので、私の育児休業の取得は必須でした。妊娠が発覚した当初から育児休業は取得しようと考えていて、周りに相談しながら期間を決めて家族の協力体制を作ってきました。</p> <p>育児休業を取得することを周りの人に話すと「育休取ってもらえると奥さん助かるね」や「育休頑張って」などあたたかい言葉をもらう反面、「仕事の方を頑張りなよ」や「育休取らなくてもいいんじゃないの」など男性の育児休業取得への理解が得られない意見も聞いたので、自分から取得して当たり前という態度でいることで上の世代の人にも、これからは男性も育児休業を取得するということを認識してもらい、下の世代が育児休業を取得しやすい環境作りをしていくことが自分にできる社会貢献だと考えています。</p> <p>育児をやってみて3時間毎のミルクやおむつ替え、夜泣きへの対応は妻と協力してなんとかやれているという感じなので、一番大変だった最初の1ヶ月はこれから子どもが生まれる男性たちには妻の負担やこれからの育児を見据えてぜひ育児休業を取得してほしいと思います。</p> <p>妻と育児をしていて子供の成長をともに感じることができたり、お互い苦手なところを補い合い、些細なことでも相談し合うことで父親としても自覚や責任を強く感じました。そう思うことができたのも育児休業を取得できたおかげなので、職場や家族の協力に感謝を忘れずに、妻と子供を第一に仕事・家事育児を頑張っていきたいと思います。</p>
--	---